

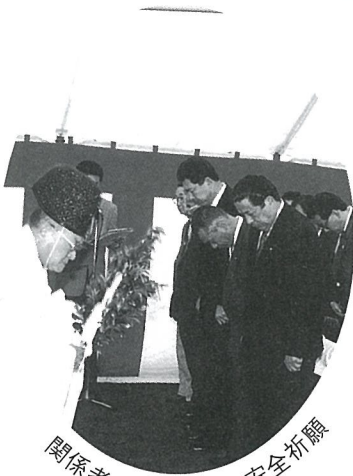
地域福祉・健康づくりの拠点

保健福祉センター起工式

全国的な高齢化社会の進展に伴い、当町でも65歳以上の人口比率が20パーセントを超えるなど、今後も「少子高齢化現象」は更に進むものと思われます。このような状況の中、町では、平成4年に社会福祉協議会を設立し、ボランティアによる福祉サービスを開始するなど、高齢者の保健・福祉事業の充実を図っておりますが、これら「地域福祉・健康づくり」の拠点となる保健福祉センターが栗山地先に建設されることになり、5月26日に関係者多数を集めて起工式が行なわれました。

施設の概要

- ◎名称 (仮称) 横芝町保健福祉センター
 - ◎工事場所 横芝町栗山1、076番地
 - ◎敷地面積 4、476㎡
 - ◎構造 鉄筋コンクリート造
 - ◎規模 (カラー鉄板一文字葺2階建て)
 - ・延べ面積 2、050㎡
 - ・1階 1、178㎡
 - ・2階 872㎡
- (視聴覚室・機能訓練室・研修室ほか)
・エレベーター 1基(13人乗り)



関係者多数によって安全祈願

高品質の農作物が多数出品

—横芝町夏期農業改良共進会—

横芝町農業振興会園芸部会(齊藤信夫部会長)主催による、第23回夏期農業改良共進会が、6月19日の金曜日、役場駐車場を会場に行われました。

今年も出品された作物はどれも高品質なものばかりで、審査に当たった農業改良普及センター職員やJ A山武郡市の営農指導員も、当町の農家のみなさんの農業技術の高さに感心していました。

主な審査結果は次の通りです。—敬称略—

- 千葉県園芸協会会長賞
嘉瀬 昭〔鳥喰新田〕メロン(ナイル)
- 山武支庁長賞
伊能 央〔鳥喰下〕バンタム
- 山武農業改良普及センター所長賞
怒賀 眞二〔中台〕メロン(タカミ)
- 横芝町長賞
長峯 新〔長倉〕かぼちゃ(栗あじ)



出来ばえの良さに審査員も感心

『思いやる心が育てる 明るい社会』

7月は“社会を明るくする運動”強調月間です

犯罪や非行のない“明るい社会”はみんなの願いです。しかし近年は、少年非行が毎年増加し、昨年は千葉県内で6万2、553人の少年が補導されています。そのうち刑法犯の補導人数は5、942人と、前年度より820人も増加しているのが実態です。特にここ数年は、1%を少年が占めているのが実態です。特にここ数年は、少年が正当な理由もなく「バタフライナイフ」等の刃物を持ち歩くといった傾向が増えてきており、これらを使った強盗や傷害、恐喝などといった凶悪・粗暴犯罪も多く発生しています。

法務省では、少年非行の防止に務めるとともに、非行に陥ってしまった少年の立ち直りを助けようと、7月1日から31日までの一ヶ月間を“社会を明るくする運動”強調月間として推進をしています。

犯罪を犯してしまった人や非行に陥った少年たちの更正を支えるため、家庭や職場、学校など地域社会全体で協力の輪を広げましょう。

全国で検挙される人の約半数は少年です

- 刑法犯に占める少年の割合
- その中心は、低年齢層の少年です(交通関係業過を除く)

